



令和5年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



5月(皐月)

幸せに生きてほしい

校長 小倉 孝行

入学、進級から1か月が経ちました。子どもたちは新しいクラスに少しずつ慣れ、自分の目標に向けてチャレンジしようとしています。ご家庭でお子さんに、新年度に向けたお話をしていただいたおかげだと感じています。ありがとうございました。

4月17日(月)に「1年生を迎える会」を校庭で行いました。この3年間、感染症対策で一同に集まることはできませんでしたが、今回は全校児童で1年生を迎えることができました。本校では、「たてわり活動」(異なる学年同士の交流活動)や「ペア活動」(1と6、2と5、3と4年がペアとなり、児童

1人に対し1人または2人のペアによる活動)を通して、心の育成をしています。1年生はこれから一年間お世話になるペアの6年生と手をつないで入場し、その後、全校児童で「じゃんけん列車ゲーム」をしたり、2～6年生が1年生にダンスを披露したり「学校は楽しいところだよ。」「私たちがいるから安心してね。」「わからないことがあったら聞いてね。」とエールを送ったりしました。その後、教室に戻り、全学年でペアの顔合わせをして、ペアが含まれる1～6年生の班になりレクリエーションをしました。校内を歩くと、学年が上の児童が後輩に、自然と手をかしたり、中休みに一緒におにごっこをして遊んだり、いつもより登校が遅い児童がいると心配して校門で待っていたりする姿がありました。ぜひ、ご家庭でお子さんにこの1か月間の様子を聞いていただき、お子さんをたくさん褒めてください。



「1年生を迎える会」での「じゃんけん列車ゲーム」の様子

令和5年度のスタートにあたり、「校長の思い」を教職員に伝えました。私の思いは「生麦小学校の子どもたちに、将来、幸せに生きてほしい。」ということです。大人になっても日々悩むことはあると思います。それでも、多くの人に愛され、希望をもって生きてほしいと考えています。子どもたちには自分を大切に、相手も大切にする気持ちを育みたい。学校では多くの体験や経験を通して達成感を味わわせ、子どもたちの自己有用感(人の役に立った、人から認められたという感情)や自己肯定感(自分の存在そのものを認める感情)を高めていきます。そのために、次の3点を大切にしたい学校づくりをして参ります。

第一は「子どもが笑顔で通える温かい学校づくり」です。児童一人ひとりにとって、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送れることが一番大切だと考えています。362名の児童すべてにこうした状況を作ることは、実はかなり難しい課題です。ですがこうした課題の克服に向けて、一歩ずつ着実に取り組んで参ります。

第二は「保護者の気持ちになって、子どもを支える学校づくり」です。「自分が児童の保護者だったらどうしてほしいか。」という考えで、判断と行動ができるように努めて参ります。

第三は「地域とともに歩む学校づくり」です。本校は、改めて言うまでもなく「地域の学校」として、地域の皆様と様々な形で連携し、ご支援いただいています。今後も「地域の学校」としての役割をしっかりと受け止め、地域、保護者の皆様との絆を大切にしながら取り組んで参ります。また、学習や行事での子どもたちの様子を、ホームページ等でお伝えして参ります。子どもたちの成長を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。なお、ホームページの閲覧総数が10万人を超えました。いつもご覧いただきありがとうございます。うれしいです。

大型連休が明ける頃、横浜市教育委員会より感染症対策について新たな通知が出る予定です。熱中症対策も含め、子どもたちの健康と安全に十分に配慮しながら教育活動を進めて参ります。今後も、皆様にご支援、ご協力をいただく場面が多々あると思います。どうぞよろしく願いいたします。